

# 校訓 『高く 大きく 美しく』

## 教育目標

「誇り高く 夢大きく こころ美しく  
よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校

学校通信

NO.4

2023.5.12 発行

TEL 0880-34-4137 : 文責 山崎利彦

5月の連休が終わり、早一週間。来週は3年生の職場体験学習、2年生の修学旅行、1年生の仲間づくり研修が予定されています。普段の教室の学びとは違い、学校を離れ校外で活動することになります。生徒たちには楽しい思い出をたくさん作り、有意義な活動にしてほしいと思います。校外に出る時、特に意識しておいてほしいことを二つ書きます。きっと、評価されます。頑張ってください！

### ① 相手に聞こえる声で自分から“あいさつ”が基本です

“あいさつ”というと、あまりに当たり前のようですが、**人と人が関係を築く中で“あいさつ”は基本となるものです。人間関係の“玄関”**みたいなものです。これは、社会に出たときに、どの仕事でも言われることです。「お早うございます。」「こんにちは。」「さようなら。」などのなにげないあいさつを**自分から相手に**

**聞こえる声で、しっかりと**言えるということは、好印象を持ってもらえることにつながります。あいさつは当たり前！と言われますが、その**当たり前のことをきちんと習慣として身につけた生徒に育てほしい**と常々思います。学校でも校外でも意識して自分から声に出してみてください。来週の体験活動の場は、貴重な実践の場です！



### ② “時間を守る”は、少し早めに行動することです

多くの生徒が外で活動するとき、予定された時間で活動できるということが大切になってきます。また、仕事を体験する3年生は、決められた時間より少し早めに職場に行くことは、職場の方に“やる気”を伝えることにもつながります。私は、これは大人になっても同じだと思います。“時間を守ろう”と思うよりも、**意識は少し余裕を持って早めに行動しよう！とする習慣を身につけることだ**と思います。昔の格言に“早起きは三文の徳”という言葉がありますが、**早めの行動は昔から何かいいことがあるのだ**と思います。職場に行く時、集団で行動する時、それぞれ実践の場としてチャレンジしてください。



## 登下校の交通安全に要注意！ ～交通ルールを守って安全な登下校を～

5月、中学校では自転車通学のことで何度か連絡が入ったことがありました。『道いっぱいになっていて危ない…』『横断歩道でないところを横切っている…』『ヘルメットをかぶっていないのではないか…』などの内容です。多くの生徒が自転車通学をしていますし、下校の時間は生徒が混雑することもありますので、歩道を通っている方にご迷惑をおかけすることもあったと思います。連絡をいただければ、全体に指導を行いますし、生徒にも事情を聞きその都度指導を行います。



以前、道路交通法が改正され、歩行者などと事故をおこした場合、自転車に乗っている人が罰せられることはよく知られていますが、最近はヘルメット着用が法律で努力義務化され、自転車に乗る人への責任も重くなりました。地域社会という視点で見れば、中学生も一人の市民です。市民として社会のルールを守ることは大前提ですので、生徒には**自転車を安全に乗る意識と共に、マナーに気をつけることも意識させたい**と思っています。

**<特に要注意！竹島・下田方面> ※時々、本校生徒かどうかはわかりませんが、横断する情報が届きます！**

自転車の通学生は主に堤防の道を通りますが、古津賀の国道56号線を横断する際には、堤防からの横断歩道はありません。**絶対に国道を渡ろうとしないでください。**車と接触し大きな事故になりかけたケースがあります。渡るためには、古津賀側に国道の下をくぐることができるルート(道)がありますので、少し回ってそのルートを通るようにしてください。

四万十・黒潮・三原球技大会 5/13(土) から開催  
～選手の皆さんは学校の代表として頑張ってください！～

県総体幡多地区予選の前哨戦として、サッカー、野球、バレーボール、バスケットボール（男・女）、ソフトテニス（男・女）、卓球（男・女）の試合が各会場で行われます。種目によっては5月20日になる試合もありますが、6月の郡大会につながるプレーを期待しています。



## 中村中学校コミュニティ・スクール 第1回学校運営協議会の報告

4月26日(水)の18時から中村中学校図書室で、「中村中学校コミュニティ・スクール第1回学校運営協議会」が開催されました。コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している学校のことで、学校運営に関して、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくために、市内全小中学校に設置されることとなっています。

本校では会長:井上克彦さん、副会長:野地ちえみさんをはじめ、11名の委員さんにお集まりいただき、校長の学校経営方針等の承認や学校に期待することなどのご意見をいただきました。主な意見は次の通りです。

### <学校経営計画>

- ・学校経営計画は3年間だが、先生が変わっても継続か？  
→学校経営計画は校長が立てるもので、異動があっても修正しながら継続していく。

### <不登校>

- ・不登校は学校だけの問題ではない。地域や家庭にもいろいろな原因がある。
- ・小学生から不登校だったが、別室での対応(担当教員や支援員の配置)や別室に来ている先輩に影響されて、教室へ登校できだした好事例もある。生徒が動き出す時期を待ってあげる。その間、保護者とつながるパイプを切らない、入学前の個別の面談による個別支援も効果を上げている要因。
- ・今日の遠足はどうでしたか？  
→前日の雨のため学校内で過ごしたが、多様な子どもたちがそれぞれに頑張っている様子が見られた。特に3年生の成長に驚かされ、いいスタートが切れた。
- ・遠足等子どもたちが「楽しい」と思える行事が登校のきっかけになってくれたらと思う。
- ・行事はクラスや学年を越えてフリーに子どもが動ける日で、いろいろな人と話せるので、大事なこと。
- ・自己肯定感を上げることやコミュニケーションがより重要になる。誰かに会いたいから子どもは学校へ行く。進路を保障する学力をつけることはもちろん大事だが、「らんまん」の万太郎のように「やりたいことを見つける」ことが学校でできたらいい。→学校も失敗を恐れない、「できる！」という前向きなとらえができる子どもを育てる。
- ・ウルトラマラソンも再開する。中学生のボランティアはランナーと接触のない配置にしたので、自己肯定感や充実感を味わうためにぜひボランティア参加を。

### <交通事故防止・公共のマナー>

- ・街灯の設置、スクールバス乗り降りゾーン(一般車の侵入の時間制限・一方通行の時間制限)の設置を希望したい。事故が起こってからでは遅いから。
- ・一般車向けに注意喚起の立て看板を立てることも効果があるのでは。
- ・生徒の登下校で自転車での道路横断が一番怖い。地域・保護者とともに交通安全教室を開催しては。
- ・公共のマナーについて指導もお願いしたい。「はれの場」での中学生らしき生徒の過ごし方が大変騒がしかった。

### <デジタル対応>

- ・デジタルネイティブの中学生とアナログ時代の先生のギャップが大きいですが、その接点は？  
→日常的に生徒とともに学ぶ姿勢で対応している。

今後も子どもたちのために地域・保護者・学校と一緒に活動していきたいと考えていますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。